

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳代女性, 20歳代男性)あり(第38週追加報告分含む), 感染地域は2例とも国内, 感染経路は2例とも経口感染です。本年の累積報告数は21例となっています。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あります。感染地域は国内で, 本年の累積報告数は12例となっています。
- レプトスピラ症の報告が1例(80歳代男性)あります。症状は発熱, 筋肉痛, 結膜充血, 黄疸, 蛋白尿, 腎不全, 意識障害, 食欲低下で, 感染地域は国内で, 感染経路は水系感染です。2003年(平成15年)11月に本疾患が感染症発生動向調査における全数把握の四類感染症になって以来, 本市で2例目の報告です。本疾患の詳細や届出等については以下のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について 43 レプトスピラ症」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-40.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(90歳代男性, 90歳代女性)あり(第38週追加分含む), 本年の累積報告数は25例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満女性)あり(第38週追加分), 症状は発熱, 咳, 菌血症で, 感染地域は国内, 感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は51例となっています。
- 梅毒の報告が3例(いずれも20歳代女性)あり, 本年の累積報告数は54例となりました。感染地域は3例ともに国内, 感染経路は性的接触2例及び不詳1例です。

◆ 今週のトピックス: <梅毒>

京都市の平成29年における梅毒の累積報告数は39週までで54例となり, 昨年の年間報告数51例を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 10例(肺結核 6例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 254例(肺結核 131例, その他結核 41例, 潜在性結核感染者 82例)うち喀痰塗抹陽性 63例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 21例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- 四類: レプトスピラ症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 25例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 51例】
- 五類: 梅毒 3例【1月以降の累積報告数 54例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.10	7
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.65	157
	② RSウイルス感染症	2.09	90
	③ ヘルパンギーナ	1.05	45
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	44
	⑤ 手足口病	1.00	43
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

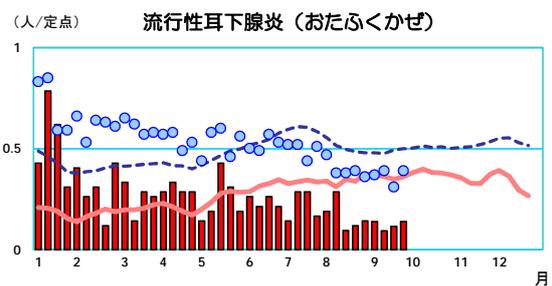
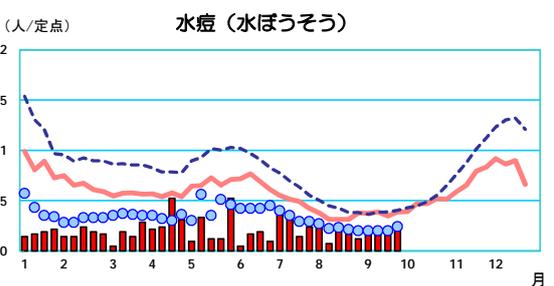
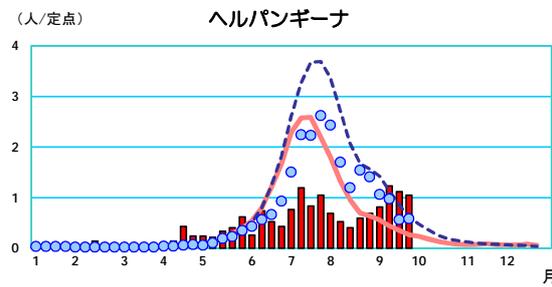
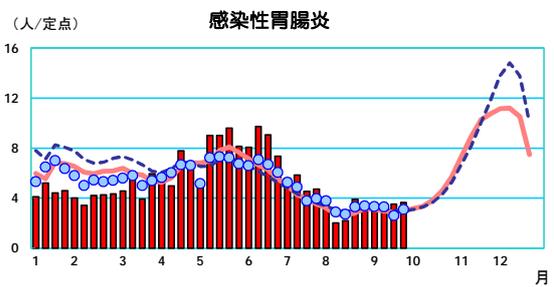
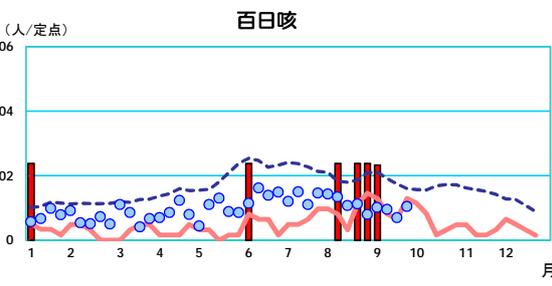
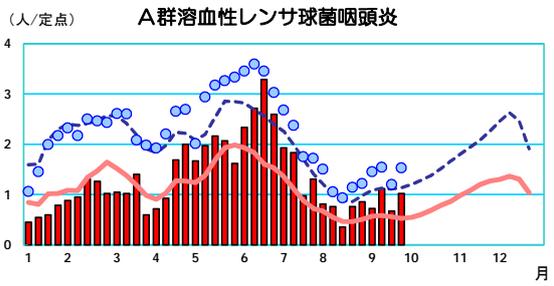
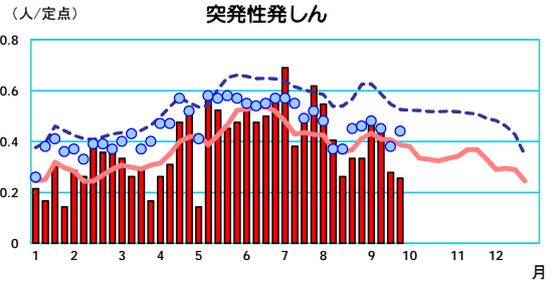
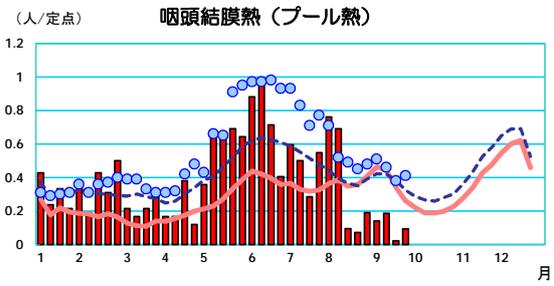
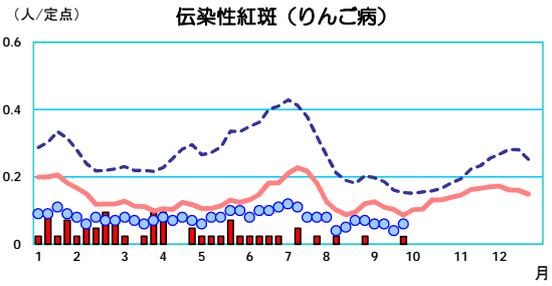
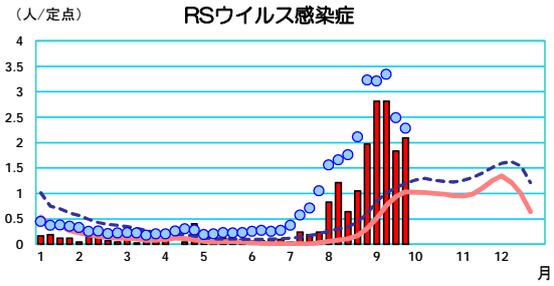
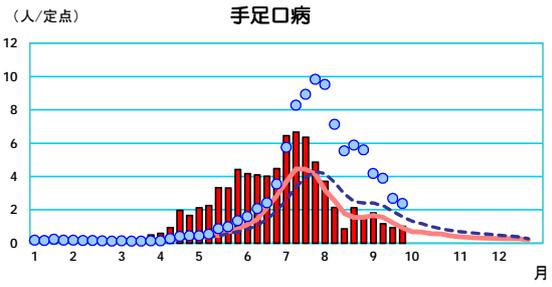
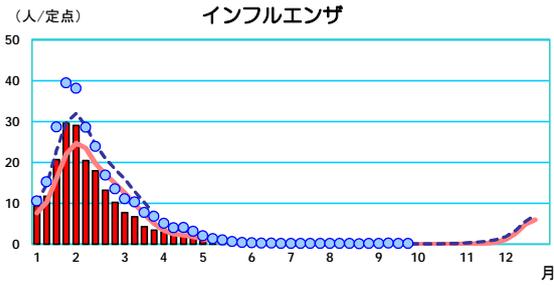
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年10月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第39週(9月25日～10月1日)トピックス: <梅毒>

■京都市及び全国の発生動向

京都市の平成29年における梅毒の累積報告数は39週までで54例となり、昨年の年間報告数51例を超えました。梅毒の報告数は京都市では最近5年間で男性は6倍、女性は8倍近くに増加し、全国でも年々報告数が増加しています。(図1)。京都市の年齢階級別報告数を最近5年間でみると、男女とも20歳代から40歳代が大半を占めており、特に20歳代女性の割合が著しく増えています(図2)。全国の本年の年齢階級別の分布を見ても、20歳代女性の報告数は女性全体の50%以上を占めるようになりました(図3)。梅毒急増の背景には、海外からの人の往来が激しくなったことも一因ではないかとも言われていますが、これを含めて不特定多数との性行為の増加があると見られています。数年前は男性の同性間性的接触で感染するケースが多かったのですが、同性間だけでなく異性間でも感染が広がっていることで、女性の患者が増えていると考えられます。

■予防

粘膜や皮膚が感染部位と直接接触をしないように、コンドームを使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分でも感染がおこる可能性があります。皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

図1 京都市及び全国の報告数の推移(平成24年～29年39週)

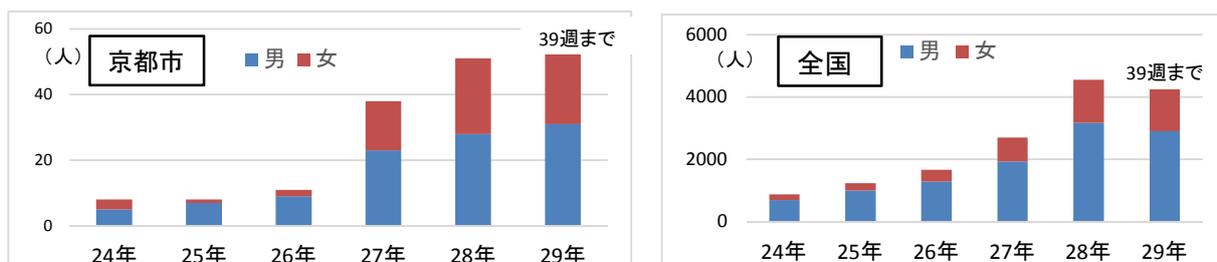


図2 京都市の性別、年齢階級別の報告数(平成24年～29年39週)

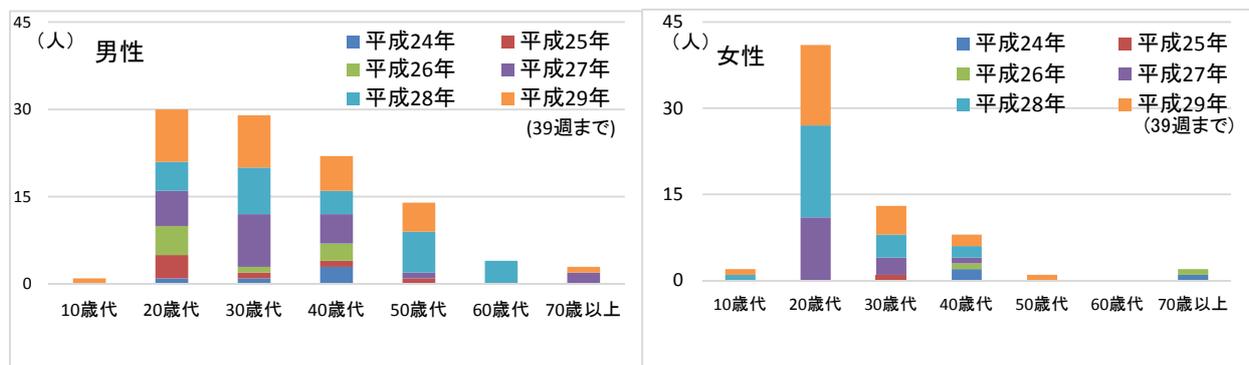
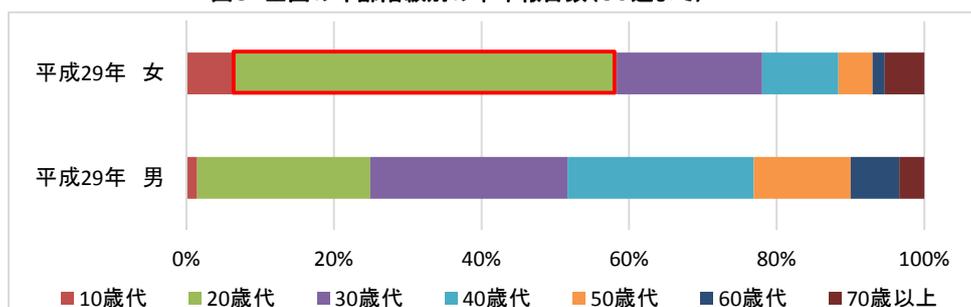


図3 全国の年齢階級別の本年報告数(39週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第39週

疾病,行政区別報告数

平成29年9月25日～平成29年10月1日

データ入手日:平成29年10月4日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	1	4	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
左京	1	7	-	2	66	1	4	-	2	-	2	2	-	2						
中京	-	8	2	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	19	-	4	-	1	1	-	-	-	6	2	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	5	-	1	12	1	1	-	3	-	13	-	-	-						
右京	1	22	1	15	14	2	15	1	2	-	9	-	-	2						
伏見	2	10	1	12	39	3	12	-	4	-	15	2	-	-						
西京	-	12	-	3	11	-	7	-	-	-	-	-	-	1						
京都市計	7	90	4	44	157	9	43	1	11	-	45	6	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.29	0.25	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	0.20	1.33	-	1.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.14	1.75	-	0.50	16.50	0.25	1.00	-	0.50	-	0.50	0.50	-	2.00						
中京	-	2.67	0.67	0.33	1.67	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	3.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	3.80	-	0.80	-	0.20	0.20	-	-	-	1.20	0.40	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	1.67	-	0.33	4.00	0.33	0.33	-	1.00	-	4.33	-	-	-						
右京	0.13	4.40	0.20	3.00	2.80	0.40	3.00	0.20	0.40	-	1.80	-	-	2.00						
伏見	0.18	1.43	0.14	1.71	5.57	0.43	1.71	-	0.57	-	2.14	0.29	-	-						
西京	-	2.40	-	0.60	2.20	-	1.40	-	-	-	-	-	-	1.00						
京都市計	0.10	2.09	0.09	1.02	3.65	0.21	1.00	0.02	0.26	-	1.05	0.14	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第39週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年9月25日～平成29年10月1日

データ入手日:平成29年10月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	1	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症		90	15	19	33	15	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		4	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	-	2	3	7	3	4	6	9	3	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		157	3	20	28	15	16	12	7	3	4	12	6	8	5	18	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	2	-	1	-	-	2	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	43	2	7	16	5	8	2	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		45	-	3	15	7	6	4	2	3	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	-	-	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01	-	0.01	0.03	0.01	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症		2.09	0.35	0.44	0.77	0.35	0.12	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.09	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	-	0.05	0.07	0.16	0.07	0.09	0.14	0.21	0.07	0.05	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.65	0.07	0.47	0.65	0.35	0.37	0.28	0.16	0.07	0.09	0.28	0.14	0.19	0.12	0.42	-	-	-	-	-	-
水痘		0.21	-	-	0.05	-	0.02	-	-	0.05	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1.00	0.05	0.16	0.37	0.12	0.19	0.05	0.02	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.09	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.05	-	0.07	0.35	0.16	0.14	0.09	0.05	0.07	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	-	-	0.07	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第39週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年10月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	8	8	2	2	1	7
RSウイルス感染症	44	83	121	121	79	90
咽頭結膜熱	3	8	6	8	1	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	37	31	48	29	44
感染性胃腸炎	164	133	149	146	151	157
水痘	7	5	9	7	7	9
手足口病	89	64	78	50	40	43
伝染性紅斑	-	1	-	-	-	1
突発性発しん	14	18	20	19	12	11
百日咳	1	1	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	25	30	35	53	48	45
流行性耳下腺炎	5	6	6	4	5	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	9	10	8	6	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	400	403	468	466	379	422

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.12	0.12	0.03	0.03	0.01	0.10
RSウイルス感染症	1.05	1.98	2.81	2.81	1.84	2.09
咽頭結膜熱	0.07	0.19	0.14	0.19	0.02	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	0.88	0.72	1.12	0.67	1.02
感染性胃腸炎	3.90	3.17	3.47	3.40	3.51	3.65
水痘	0.17	0.12	0.21	0.16	0.16	0.21
手足口病	2.12	1.52	1.81	1.16	0.93	1.00
伝染性紅斑	-	0.02	-	-	-	0.02
突発性発しん	0.33	0.43	0.47	0.44	0.28	0.26
百日咳	0.02	0.02	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.60	0.71	0.81	1.23	1.12	1.05
流行性耳下腺炎	0.12	0.14	0.14	0.09	0.12	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.80	0.90	1.00	0.80	0.60	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	10.06	10.21	11.63	11.43	9.27	10.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。